

## 会議録

会議の名称	西東京市立中原小学校及び西東京市立ひばりが丘中学校建替準備検討協議会（第2回会議）
開催日時	平成24年7月10日（火曜日） 午後2時02分から午後3時50分まで
開催場所	西東京市立中原小学校 2階 算数少人数教室1
出席者	委員：杉原明子、一井靖子、吉村美穂子、門馬 晶子、河野美晴、岩崎正敏、池田めぐみ、内田真弓、佐藤裕子、真鍋五十鈴、白政幸子、近藤雅代、フィスク恵美子、神山繁樹、野澤幸美、櫻井 勉 事務局：坂本眞実（教育企画課長）、早川礼成（教育企画課長補佐（企画調整係））、坂本義隆（教育企画課企画調整係主任）、中村幸雄（教育企画課学務係長）、名古屋勇（学校運営課施設係主査）
傍聴者	2人
議題	1 開会 2 会議録の確認 3 アンケート（意見・質問等）シートの集計結果について 4 学校施設の建替えに向けた課題整理等について 5 意見交換等 6 次回の開催日程について 7 閉会
会議資料の名称	資料1 西東京市立中原小学校及び西東京市立ひばりが丘中学校建替準備検討協議会（第1回会議）会議録（案） 資料2 アンケート（意見・質問等）シートの集計結果 資料3 中原小学校・ひばりが丘中学校の建替えに関する課題整理
記録方法	<input type="checkbox"/> 全文記録      発言者の発言内容ごとの要点記録 <input type="checkbox"/> 会議内容の要点記録
会議内容	
<p>議題1 開会</p> <p>議題2 会議録の確認</p> <p>○会長： 資料1として配布している前回第1回の会議録（案）について、何か訂正すべき箇所、お気づきの点などがあれば発言願いたい。（全体で会議録（案）の内容確認） 特に発言等も無い様なので（案）を取って、この内容を正式な会議録とさせていただきます。</p> <p>議題3 アンケート（意見・質問等）シートの集計結果について 事務局から資料2に基づいて、アンケート（意見・質問等）シートの集計結果を説明。 会長：</p>	

事務局から資料説明があったが、ご質問・ご意見等のある方は発言願いたい。前回の会議でも、委員の皆さんから出ていたように、庁内検討委員会で推奨するプランでいくという確認を持たないと次の課題が出せないというご意見もあったので、この玉突き形のプランを前提として、これからもこの会議を続けていいのかという共通理解を取らないと次に進めないと思う。アンケートを見させていただいて、委員19人のうち、15人の方が回答されていて、そのうち11人の方が良い計画であるとしている。また、良くない計画であるという方のご意見も期間についてであり、方向性については賛成と考えることができる。とすれば、その他の方のご意見も尊重して、この建替準備検討協議会で、このプランで課題を決めて行きましょうという確認をしたいので、賛成・反対等のご意見があればいただきたい。（→特になし）

○会長：

アンケートの集計結果を見て、皆さんにご理解いただけたと捉えられると思うが、URの土地をどう取得するのか、取得する時期などについては課題として残っている。ただし、これは市に任せるしかない内容だと思うので、新しい情報があったら、この建替準備検討協議会に事務局から報告してもらいたい形にしたい。ついては、皆さんのご意見を集めたものを先に進めていくためには、このプランの方向性で課題を整理していくということの確認という事でよろしいか。それに意義がないかどうか、ここが建替準備検討協議会の一つの意味決定だと思うので、このように慎重にさせていただいている。異議なしという事で、意思表示をしていただきたいので、異議なしの方は拍手をお願いしたい。（→出席全委員から拍手）それでは、この建替準備検討協議会としては、URの土地を活用して、中原小学校とひばりが丘中学校の建替プランを進める方向性で、どんな課題があるかという事を委員全員で洗い出していくことにする。

#### 議題4 学校施設の建替えに向けた課題整理等について

事務局から資料3に基づいて、今後課題整理等を行う際の課題の大きな柱を記したシートについて説明。

会長：

事務局から資料3について説明があったが、ご意見・ご質問がある方は発言願いたい。（→特になし）建替準備検討協議会で任された事は、具体的な課題をしっかりと見出しとして決める事なので、資料3のシートでは、「1.通学区域の変更に関する事」、「2.「中原小学校」の児童が仮校舎として「（仮称）第10中学校」の校舎を使う事」、「3.地域コミュニティに関する事」、「4.その他」となっているが、「4.その他」の中からまた新しい項目が立つかもしれないし、ここには出ていない新しい柱が立つかもしれないので、この辺はいくらでもご意見をいただいて構わないと思う。また、課題には、大・小があると思うので、今資料3では大きい課題が、1・2・3・4とあるが、委員の皆さんからご意見・ご提案等を出していただいて、ここに位置づけますねといった形で、皆さんで課題の位置づけを行いたい。何かご意見・ご提案等はあるか。

委員：

議論を進めていく中で、こういう意見があった、こういう事もあった、と気づいていくと思うので、先に進めていただいた方が良く思う。

会長：

もう少し出されたものの中身を練った方が良いと思うので、話し合いの進め方で何か事務局から提案はあるか。

事務局：

資料3の「1.通学区域の変更に関する事」、「2.「中原小学校」の児童が仮校舎として「(仮称)第10中学校」の校舎を使うこと」、「3.地域コミュニティに関する事」のそれぞれの大きな課題の柱ごとに、グループに分かれていただき、ご協議いただくグループ協議という形はいかがか。

会長：

この会場は算数教室だが、よく算数の時間にグループ協議をやるので、やってみましょう。

#### グループ協議開始

1グループ：「1.通学区域の変更に関する事」

前島 京、吉村 美穂子、河野 美晴、飯野 露子、真鍋 五十鈴、フィスク 恵美子、野澤 幸美

2グループ：「2.「中原小学校」の児童が仮校舎として「(仮称)第10中学校」の校舎を使うこと」

杉原 明子、浜口 ひろみ、岩崎 正敏、内田 真弓、白政 幸子、神山 繁樹

3グループ：「3.地域コミュニティに関する事」

一井 靖子、門馬 晶子、池田 めぐみ、佐藤 裕子、近藤 雅代、櫻井 勉

※各グループに事務局職員1～2名が入って協議を行った。

○会長：

グループごとに協議していただいた内容を発表していただきたい。

⇒各グループの代表者が順番に協議内容を発表した。

(1グループ) 「1.通学区域の変更に関する事」の協議内容(課題の洗い出し)

- ・中原小学校が(仮称)第10中学校に入っている間の児童の通学区域
- ・谷戸小学校と中原小学校の新たな通学区域
- ・小・中学校とも学区域案を早めに検討することが必要

- ・通学区域の変更を見越して、各自が学校を選択していくのか否か
- ・ひばりが丘中学校がUR跡地に移転することが分かっているが、中学校の通学区域をどうするか
- ・泉小学校や住吉小学校の子どもたちで、中学入学時に途中で移転が分かっていたら、入学時から新しい通学区域の中学校へ入学するのか
- ・（UR跡地に中学校ができて通うようになった時の）住吉町地域の生徒の中学校区の分け方
  - ・通学区域を変更する場合、ある年に一斉に中1、中2は変更するのか
  - ・谷戸小学校と中原小学校の児童が全員、新ひばりが丘中学校に入るのが、大きな道路を渡らずにベスト
  - ・谷戸小学校と中原小学校の児童が全員新ひばりが丘中学校に通うとしたら、中学校のキャパは間に合うのか
  - ・新ひばりが丘中学校に、現在の緑町等、田無三中地区の生徒も入れると考えると、生徒数のある程度把握すべき
  - ・現在の泉小学校や住吉小学校地域から新ひばりが丘中学校に通学する生徒のために、安全な通学路を確保する必要がある
  - ・学童クラブ⇔小学校への安全な通路（特に帰り・冬季）
  - ・通学路の危険箇所への点検が必要
  - ・通学区域の住民への周知（人の流れが変わる）
  - ・建替え決定後の住民へのお知らせのやり方（早く知らせた方がよい）
  - ・通学距離が遠くなることによって中学生の風紀の乱れが気になる
  - ・生徒への意識調査が必要
  - ・安全面が心配
  - ・新ひばり中に特別支援学級の設置を

（2グループ）「2.「中原小学校」の児童が仮校舎として「（仮称）第10中学校」の校舎を使うこと」の協議内容（課題の洗い出し）

- ・今現在でも中学校12学級、小学校23学級＋特別支援学級（中学校が移った後、余剰学級がかなり出る）
  - ・教室が足りるのか
  - ・教室や職員室の広さ、トイレの高さや規模など
  - ・設備面で中学3年生と小学1年生では、大きさがかなり違う
  - ・中学生用の備品や設備を小学1年生が使うこと
  - ・机やイスについて（新規購入or現状のまま？）
  - ・黒板は可動式にすれば良い
  - ・階段や体育館の安全性
  - ・窓枠や水道（水飲み場）の高さ
  - ・校庭や体育館、プールなど小学校と中学校とではかなり違う
  - ・固定施設（バスケットゴール⇒可動式で○、体育館ライン⇒×、舞台（校章）⇒△）
  - ・各種設備（教材、給食、保健室の設備）

- ・校庭の遊具
- ・住吉小学校から問題点（不便なところ）を聞いてみる（見てみたい）
- ・学童クラブについて（ひばりが丘児童センター 仮校舎間）
- ・校庭開放（野球、サッカー、休日利用）
- ・通学路の安全 交通指導員

(3グループ) 「3.地域コミュニティに関すること」の協議内容（課題の洗い出し）

- ・いっそ近いのだから小・中一貫はどうか
- ・交番が近いのがよい
- ・（幼・保・小・中・福祉施設）全部が揃うのでよい
- ・防音はどの程度必要か
- ・以前、学校が移転したときに騒音問題がクローズアップした
- ・今の時点で交通量が増大している
- ・中原小学校の周りの信号機設置
- ・学校を軸とした地域コミュニティはないのでは
- ・地域コミュニティはそれほど学校中心ではない
- ・防犯意識が強すぎてコミュニティ形成の核になりにくい
- ・こうなったらいいというコミュニティの話は出るが継続しない
- ・近隣過ぎてどっちを中心にしたら良いのか
- ・コミュニティは後からできるもので誘導できない面がある
- ・防犯にポイントを置くか、開放して地域の目で見守るか
- ・イベントがあるとコミュニティ形成のきっかけになる
- ・施設を開放すればコミュニティの中心になるかも
- ・避難所としての機能は注目されている
- ・移転先の現在のコミュニティの把握が大事
- ・通学区域の設定の配慮・工夫（花を折るなど児童や生徒のいたずらがある）
- ・高齢者に行事やパトロールに参加してもらうことで理解を得る
- ・災害時の避難所は
- ・巨大マンションは困る
- ・跡地に何が立つのか（商業施設等が建つと子どもへの影響が心配）

会長：

発表を聞いていかがでしょうか。それぞれのグループで見出しとなっているところを見て、付け足して何かあれば、活発なご意見・ご提案をお願いしたい。（→特になし）

#### 議題5 意見交換等

○会長：

グループ協議の前に議論したことも振り返って、ここまでの会議で何かご質問やご意見等はあるか。また、今回グループ協議をした内容は、事務局が取りまとめて、次回以

降の会議資料として出してくれるので、併せてこういう資料が欲しいという要望があれば出していただきたい。

委員：

中学校の通学区域を考えていた時に、新しいひばりが丘中学校には、ひょっとしたら中原小学校と谷戸小学校の児童全員が通うことも考えられるかな、という話があって、10年後にどこの小学校から中学校に上がる子どもが何人ぐらいいるのか、というデータがあれば確認しておきたい。

会長：

他には何かあるか。

委員：

中原小学校が、（仮称）第10中学校の学校施設を使った後に、ひばりが丘中学校が移転してきて、教室の数が余ると思うが、そこを地域に提供して、お年寄りの方たちがそこでお茶を飲んだりできる場所として開放し、そこでコミュニティを広げようとすることも考えられると思った。

会長：

今日のところまでで議論した内容を事務局にまとめてもらい、それからまた新たな課題等が出て来たら次回話し合うという事にしたい。

#### 議題6 次回の開催日程

○会長：

第1回会議時に配布したスケジュール表では、次の会議は10月開催としていたが、アンケートのご意見でも、スピード感を持って話し合っていく事が大事だろうという事だったので、当初の予定を前倒ししたいがよろしいか。（→異議なし）

日程調整の結果、第3回会議の開催日時は、8月24日（金曜日）の午後2時から4時頃までの2時間程度で開催するので、出席をお願いしたい。

#### 議題7 閉会